



上菅田中学校だより

第3号 平成29年6月12日発行

発行責任者 校長 関 恭雄

上菅田中学校 学校教育目標

- ◆学びを深め、実践力を養う
- ◆互いを認め、自分を伸ばす
- ◆豊かな心と健康な体をつくる
- ◆地域の一員、国際社会の一員であることを自覚し、行動する

「つなぐ心 勝利への道」 体育祭 (5月16日)



中学生が、全力で競技や演技に取り組む姿には、理屈抜きで感動します。上中生の発するエネルギーや輝きには、胸がときめきます。今年の体育祭には、生徒の熱い思いがぎっしり詰まっていた。上中生は、個人として、クラスとして、学年として、限ら

れた準備期間の中で気持ちとコンディションを高め、本番で最高のパフォーマンスを見せしてくれました。色別優勝は青組（各学年2組）、学年優勝は1年1組、2年3組、3年2組でした。大縄跳びで、2年2組が跳んだ連続55回は上中新記録でした。生徒の書いた感想には、勝負の結果よりもクラスの仲間と心をひとつにして練習に取り組んだ「過程」に意味を見出しているコメントが目立ちました。さすが、上中生です。当日、ご来場いただき、熱い声援と拍手をお送りいただいた保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。



修学旅行 「最高の学びの場を～“過去”を知り“ミライ”につなげる～」(5月23～25日)

3年生が2泊3日の修学旅行へ行ってきました。1日目の広島、2日目の京都、3日目の奈良、それぞれの訪問地でかけがえのない出会いや体験がありました。宿の食事の美味しさと、生徒たちの食事の幸せそうな顔が印象に残った旅でもありました。最初に訪れた広島平和記念公園では原爆ドームを見た後、原爆の子の像の前で平和集会を開きました。上中の前に集会を開いていた小学生が群読した峠三吉氏の詩「序」（にんげんをかえせ）の思いを受け継ぐかのように、修学旅行実行委員長の葛岡沙姫さんが平和宣言を行いました。葛岡さんの宣言は、昨年広島を訪れたオバマ大統領が書き残した直筆のメッセージ「We have known the agony of war. Let's find the courage, together, to spread peace, and pursue a world without nuclear weapons」から始まり、平和のシンボルとなった折り鶴と原爆の子の像の由来に触れ、最後に「私はオバマさんのメッセージにもあったように、平和を広めていき、まずは自分が世界平和のためにできることを考え実践していきたいと思います。」と結ばれました。心に残る宣言でした。



自然教室

山梨県 富士山・青木ヶ原樹海周辺



スローガン 「スイッチ ～楽しみと学びをきりかえよう～」

副校長 内田 克弥

1年生が中学校に入学して初めての校外行事である自然教室に行ってきました。6月5日(月)、6日(火)の1泊2日で、宿泊場所は、昨年同様富士山の麓、鳴沢村にある緑の休暇村。両日とも上々の天候で、目前にある富士山を眺めることもでき、高原のさわやかな風に吹かれながら、子どもたちは元気に活動し、たくさんの思い出をお土産に帰ってきました。

1日目は緑あふれる河口湖総合公園で昼食をとった後、緑の休暇村に入って入村式。これから始まるプログラムに緊張気味の人もありました。その後三湖台展望台へのハイキング。天気もよく、展望台からは、西湖や本栖湖、青木ヶ原樹海が一望でき、雄大な風景をバックにして、笑顔で写真撮影をするなど、楽しい時間を過ごしました。

夕食後は、青木ヶ原樹海のナイトハイク。インストラクターを先頭にして、クラス全員で真っ暗な深い森に入りました。横浜では経験することができない闇と静かさ。そして夜行性のヒメネズミの姿……。本当に非日常的な経験でした。



2日目は、今度は昼間の樹海体験。インストラクターさんの話を聞きながら、昼間の森を散策しました。インストラクターさんからは、溶岩の上でできた樹海の成り立ちや生い茂る木々の種類などを説明してもらいながら、前日とは違う姿の樹海を歩きました。最後に入った洞穴「コウモリ穴」では、こうもりには出会えなかったですが、樹海の地下の様子を体感することができました。

その後、2日目の昼食はバーベキュー。目の前にそびえる富士山を見ながら、肉や野菜をおいしそうに頬張っていました。

退村式を終え、休暇村に別れを告げた後、富士山五合目へ。五合目からは富士山がとてもよく見えました。しかし、その富士山の姿よりも子どもたちは、メロンパンやソフトクリーム、お土産に夢中だったようです。

行き帰りのバスの中でもバスレクに楽しそうに取り組むなど、この2日間は子どもたちにとって笑顔の絶えない2日間になりました。また、学年、学級で今まで以上に仲が深まったと思います。

今回子どもたちと接した方々、カメラマンさん、バスガイドさん、運転手さん、インストラクターさん等から異口同音「話がきちんと聴けますね。」「あいさつがしっかりできますね。」というお褒めの言葉をいただきました。基本的なことですが、これらの点をとてもよくできたと思います。



この自然教室で学んだことを学級での活動、行事、部活動などで生かし、中学校生活がさらに充実したものになるよう願っています。